

2005年5月12日(木)

シンポジウム開催にあたって

「森里海連環学」を立ち上げた京都大学(フィールド科学教育研究センター)と、黒潮圏の学際融合的研究をめざす高知大学(大学院黒潮圏海洋科学研究科)は連携して、“クジラの魚付き林”ともいべき横浪半島の一端にセミナーハウスを持ち、黒潮から立ちのぼる水蒸気によって生かされてきた高知の森と川と海、そしてその里に生きてきた人間のありようを見つめ直し、日本列島の再生を模索することになりました。

一方、高知県は「有機農業による大地のよみがえり」「木質バイオマス利活用による森林産業と森のよみがえり」を目指しています。

日本の国土を特徴づける森と川と海に恵まれた高知県において、これら三者の協働が“日本列島再生のモデル”になることを願って、シンポジウムを開催いたします。

開場案内

須崎市立市民文化会館

住所 高知県須崎市新町2丁目7番15号
TEL 0889-43-2911
交通案内 JR須崎駅から南方200m
須崎東ICから車で約10分



13:00 ~ 受付開始

13:30 ~ 開会挨拶 辻 文三 京都大学副学長
橋本大二郎 高知県知事

来賓挨拶 笹岡 豊徳 須崎市長

13:50 ~ 基調講演

“森里海連環学”のすすめ

田中 克 京都大学フィールド科学教育研究センター長

サーモンは、森に何を教えたか

C.W.ニコル 作家、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授

「黒潮圏」研究がめざすもの

深見公雄 高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科長

15:30 ~ 基調報告

天然アユを守るといふこと

高橋勇夫 河川生物調査コンサルタント

農地のよみがえりを目指して

山下一穂 有機のがっこう「土佐の自然塾」塾長

木質バイオマス利用が 森の再生をすすめる

大原儀郎 実業から木質バイオマスの利活用を進める会

16:35 ~ パネルディスカッション

21世紀に高知の森・川・海が 再生するために

パネラー

山岡耕作 高知大学大学院黒潮圏海洋科学研究科教授
梅本信也 京都大学フィールド科学教育研究センター助教授
上林 匡 高知県産業技術委員会理事

進行

天野礼子 アウトドアライター

17:35 ~ 来賓コメント

17:55 ~ 閉会挨拶 川口 浩 高知大学副学長

下記申込書にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください(先着順)

シンポジウム事務局(高知県水産試験場) FAX.088-856-1177

申込書 兼 参加証

貴社名			
ご住所			
ご参加者名			計
所属・役職			名
TEL		E-MAIL	
FAX			

FAXでお申し込みの上、当日受付にて本状をご提示ください。

会場定員になり次第、受付を終了させていただきます。